アカネスミレの北海道分布（予報）

千歳市　五十嵐　博

はじめに

本誌16号（1999）でサクラスミレ、ヒカゲスミレの北海道分布（予報）を報告したが今回報告するアカネスミレも前記２種同様に道内の分布特性が北海道南部型の傾向を示すようである。小型で目立たないためとスミレ類の中では比較的遅咲きのためかまだ、確認地点数は少ないが傾向は出ているので予報として報告する。今回は詳細産地を報告するとともに生育標高の解析も行った。読者の中で分布情報をお持ちの方は連絡頂けるとありがたい。

アカネスミレの特徴

Viola phalacrocarpa Maxim.

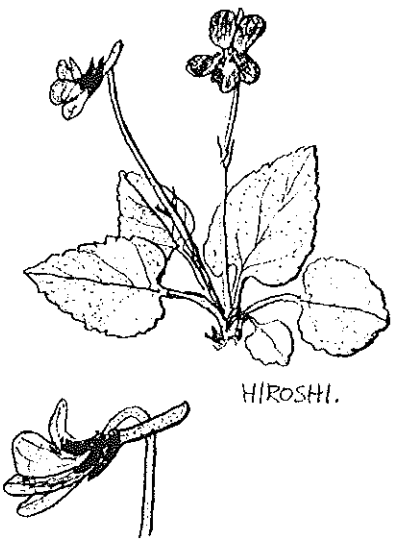
無茎タイプ。草丈は５～10㎝、花は直径1.5㎝前後、側弁の基部に毛が密生する。距は細長く、先が細くなるのが特徴である。花色は普通紅紫色であり、和名の元である「茜色」は中々見られない。淡いピンクの色の場合は f .*pallescens*（薄茜菫）ウスアカネスミレと呼ぶ。基本種は葉、茎など全体に毛が多く見られるが、無毛品をオカスミレ（丘菫）f .*leucantha* と呼ぶ。

アカネスミレの分布特性

橋本（1967）では「春、日当たりのよい乾き気味の所」「やや乾いた草原に多い」とあり、北大標本などを参考にしたと思われる分布図が掲載されている。17地点が図示されており、後志、石狩、釧路支庁などの数か所は北大標本産地と符合しない。

浜（1975）では「日本では北海道中部以南（北部は不明）屋久島、種子島までの、海岸から山地や丘陵にかけて～山野の路傍や斜面などの向陽地に多い」とされ、道北の分布を不明としている。分布図は道北や高山を除き黒く塗りつぶされている。

いがり（1996）では「丘陵地に多い。北海道から屋久島まで分布しているが、中部地方以北の低山に個体数が多く、西日本の低地では少ない。日当たりのよい二次林の林縁や道ばた、畑の土手などを好む。国外ではシベリア、中国、朝鮮半島などに知ら



アカネスミレ